

3 イキイキを楽しむ! 依存から自立へ

自立の後押し!?, 親の出番は!?

1 エピソード 健太郎君とお父さん

健太郎君の小学校3年生までの話です。お父さん、お母さんが勤めから帰ってくるのが遅いので、お菓子を食べて、テレビゲームで遊んで待っているのが普通でした。

お母さんと顔を合わせてから、おしゃべりをして、明日の準備をして、夜11時過ぎに寝ることにしていました。

こんな毎日ですから、いつも学校へは遅刻をしていました。朝9時ごろ、お母さんに学校へ送ってもらい、学校の玄関には入るのですが、そこで座り込んでしまいます。無理やり起こされて連れて来られたので、機嫌も悪く、教室には入りにくいのです。このように、午前中はさっぱり調子が出ません。

そんな日が続いた3月のある日曜日、野球部の上級生がユニフォーム姿で練習しているところを目にしました。とてもかっこいいと思ったので、家に帰り話をしてみました。いつもあまり話をしないお父さんが「お父さんも野球をしていたんだよ。初めはへたくそだったけどね」となつかしそうに話し、「お前もやってみたら」と背中を押してくれました。



4月に4年生になってから、健太郎君のようすはすっかり変わりました。朝も間に合うように教室へ入るので、それは「野球スポーツ少年団」に入ったからです。練習日には、ランドセルのほかに野球の用具も持って登校しています。放課後になると、野球部の友達といっしょにいそいそと着がえます。ユニホームにそでを通し、スパイクをはき、帽子をかぶるのが気に入っているのです。友達といっしょに行動できることがうれしいのです。礼儀正しくなり、先生たちも驚いています。3年生のころのぐずぐずした態度はどこかへとんでいってしまったようです。



かなり太っていた体も少しまってきた。ところが、キャッチボールが一番へたです。10mも投げられません。でも、友達に助けをもらいながら毎日キャッチボールの練習に励んでいます。

あなたが小学生の頃、がんばったことは何でしたか? 思い出してみましょう!

小学生の頃、がんばっていたこと:



エピソードを読み、つぎに示す1~5のテーマについて10分ほどで自分の経験を書いてみましょう。つぎに4~5人のグループでいくつかテーマを選んで30分ほど話し合い、後で話し合った内容について簡単に報告し合しましょう。グループでは、あらかじめ司会者、記録者、報告者の分担を決めておきましょう。

1 子どもが自立し始めたと感じたのはどのような時ですか。

自分の経験

他の人の意見: メモ

2 子どもを自立をあと押しする行動とはどんな行動でしょうか。(例: ほめる、応援する、しつめるなど具体的なエピソードで)

自分の経験

他の人の意見: メモ

3 親子のコミュニケーションの取り方で心がけていることはなんですか。(例: 子どもの話に耳を傾ける)

自分の経験

他の人の意見: メモ

4 あなた自身が父、母を尊敬したのはどんな時ですか。子どもにとっての、父の出番、母の出番とはどんな時でしょうか。

- 尊敬した時
- 父母の出番

他の人の意見: メモ

5 家族のきずなや、協力し合う姿をどのような場面で子どもに見せていけばよいでしょうか。(例: アウトドア)

場面

他の人の意見: メモ